

令和 2 年度
学校関係者評価報告書

令和 2 年 11 月

学校法人昭徳学園
九州動物学院

学校法人昭徳学園九州動物学院は、平成 16 年に設立され、学校法人化して 3 年となるところです。専修学校の学校評価につきましては、自己点検評価、学校関係者評価の実施・公表が謳われており、昨年度本学院でも自己点検評価を実施公表したところです。

今年度は実践的な職業教育取り組んできた本学院においても、更なる教育の質保証および向上を目的として、自己点検評価をもとに学校関係者による評価を実施することにいたしました。関係団体、行政、大学、企業関係などの分野の第一線で活躍されている先生方に委員をお願いし、学校関係評価を実施いたしました。

今回の評価を真摯に受け止め、職員一同今後とも業界と地域の期待に応えられる学校運営に努める所存です。

今後とも、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 11 月

学校法人昭徳学園 九州動物学院
学院長 徳田 昭彦

1 学校関係評価の実施方法

本学院が学校関係評価については、令和元年度に実施した「学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について、本学院に関係のある4名の評価委員に評価していただいた。

評価の結果については、報告書として取りまとめホームページ上で公開することとした。すでに公開している、「令和元年度自己点検・評価報告書」と合わせてご覧ください。

2 学校関係評価委員一覧表

名前	所属	任期	種別
藤井 琢磨	総合動物病院デーリー院長	2018年9月30日 ～2020年9月29日	企業・専門家等 評価委員
芝田 猛	東海大学名誉教授	2018年9月30日 ～2020年9月29日	専門家等 評価委員
本田 敏裕	アニマル動物病院院長	2019年4月1日 ～2021年3月31日	専門家等 評価委員
松尾 正直	松尾愛犬訓練学校校長	2018年9月30日 ～2020年9月29日	企業・専門家等 評価委員
井上 竜一	九州動物学院同窓会幹事	2019年4月1日 ～2021年3月31日	同窓会 評価委員

3 学校関係者評価委員会日程

- ・令和2年9月25日（金）13時30分
- ・九州動物学院第2教室

出席委員	職 業	カテゴリー
芝田 猛	東海大学名誉教授	学識経験者
本田 敏裕	アニマル動物病院院長	専門家
松尾 正直	松尾愛犬訓練学校校長	企業
井上 竜一	九州動物学院	同窓会代表

学院参加者

九州動物学院	学院長	徳田 竜之介
同	顧問	山田 進二
同	副学院長	本田 公三
同	教 頭	高木 弘和
同	事務長	林 典子

4 評価会議次第

次第

(1)開会

(2)学院長挨拶

- ・学院長から、学校関係者評価委員会の趣旨並びに「高等教育修学支援制度」の指定と「職業実践専門課程」の認可申請についての説明

(4)委員長代理選出

- ・藤井琢磨先生欠席のため芝田委員を代理に選出

(5)学校関係者評価概要の説明

- ・事務局より学院の事業活動、「高等教育修学支援」の対象校決定、文科省「職業実践専門課程」の認定事業等について説明

(6)令和元年度自己点検・評価報告

- ・事務局から「令和元年度学校法人昭徳学園九州動物学院自己点検・評価報告書」について説明

(7)報告に関する意見交換

- ・各評価委員から、自己点検評価及び学院活動全般に対するご意見、ご指導をいただいた。

(8)その他

- ・今後の予定等

(9)学院長謝辞

(10)閉会

4 内 容

自己点検評価で行った各評価項目について、エビデンスとなる資料のもと、学院長から平成 30 年度自己点検評価に基づき学院運営等について説明をした後、各委員から意見を聞いた。

1 教育理念・目標

芝田委員

- ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの学院の 3 つのポリシーを早期に策定し、教育理念の具体化を示した方がよい。

松尾委員

- ・定期的な保護者会の実施が必要ではないか。

学院長

- ・3 つのポリシーを策定し、教職員、学生に具体的な行動目標を示し、意識づけを図りたい。

2 学校運営

井上委員

- ・校務分掌の明確化しているか。
- ・職員会議・部門別会議など実施しているか

学院長

・校務分掌については昨年も指摘があり改善したところである。更に明確化を徹底したい。職員会議を毎月定期的の実施し、職員の業務進捗状況の共有を図り意識向上につなげている。

3 教育活動

松尾委員

- ・関連企業との連携を深め充実した実習体制が必要ではないか。

芝田委員

- ・学院運営に学生保護者へアンケート調査等を行ったらどうか。
- ・進級・卒業判定会の基準があるのか

学院長

・実習における関連企業との連携においては、「職業実践専門課程」の取組でも取りまとめており、多くの企業と連携しているところであるが、更に実習評価等についても充実したものとして行きたい。

4 教育成果

芝田委員

- ・インターンシップの 1 年次に意識づけはどうであったか。また、

学院長

・インターンシップについては、その意義をはじめ社会に出るうえで準備、心構え等十分理解し活動できるように徹底したい。

5 学生支援

井上委員

・学校、保護者、地域とのかかわり方が少ないので増やしてほしい。
・進路・就職に関する支援体制は整備されているが、保護者向け学生の生活の様子が分かるように発信したらどうか。

学院長

・学院では担任制をとっているため、修学、健康、交友関係等において何らかの問題気付きがあった場合は、連絡し情報を共有し連携をとっている。現在学院活動の紹介報告等を記載した「九動通信」を2か月に1回発行しているが保護者への提供を検討したい。

6 教育環境

松尾委員

・学生が学習意欲を持てる環境にあるか。

学院長

・学生のどのような問い合わせにも対応できるようにしている。個別の面談も定期的に行っており、修学環境を整えていきたい。

7 学生募集と受入れ

松尾委員

・学生募集活動の中で、九州動物学院の認知度はどうか。

学院長

・活動において、基本的に高校の先生には、学生生活、就職状況等について、丁寧にお答えしている。
・高校生、高校からの問い合わせも増えてきており、学校の先生への学院の認知度が高くなってきていると実感している。入学志願者も増えてきているところ。

8 財務

芝田委員

・財務の状況はどうか。

学院長

・令和元年度は43名、令和2年度54名年度は入学している。収入増とともに教育活動の充実に向け備品整備のため予算化している。

9 法令順守

芝田委員

・自己点検・評価を充実するための工夫はどうか。
・職員と地域の関係はどうか。

学院長

・職員一人一人の意見をボトムアップし充実した教育活動に繋げるため、自己点検評価と学校関係者評価を活用させていただく。

10 社会貢献・地域貢献

本田委員

・地域との連携をふかめるためのボランティア活動はどのようなことを行っているのか。

学院長

- ・平成 28 年時の熊本地震時における学院および竜之介動物病院全体で「動物同伴避難所」の開設やボランティア団体 BoX 竜之介が平成 27 年から年 2 回実施している「野良猫不妊キャンペーン (TNR)」に参加し、動物を中心とした関わりを築きつつある。学生教職員が一体となって取り組んでおり、地域、ボランティア団体の方からも感謝の言葉をいただいている。
- ・動物関係のみならず、地域の企業と運営や就職活動について情報を共有し取り組んでいきたい。

1 1 国際交流

松尾委員

- ・国際交流についてはどのように考えているか。

学院長

- ・毎年行われている、海外研修では動物福祉の先進国に行っており、獣医科大学、看護大学、動物病院、愛護協会などを訪問し、学生はその交流を通して見聞を拓けている。
- ・今後は、海外からの研修視察等が行えるよう体制の準備を行っていきたい。

・ご意見をいただいた後、各委員に学院施設を視察していただいた。最後に学院長からの謝辞があり閉会した。